

ワークショップ「カカオ農園の子ども達」

テーマ 国際協力

- ねらい
- ・南北問題（格差）のことを知る
 - ・開発途上国の人たちとどのように関わるべきかを考える
 - ・問題を解決するために日本に住む私たちにできることを考える
 - ・「フェアトレード」について知る

概要 ガーナのカカオ農園で働く子どもたちのビデオを見て、ワークシートを使って考えを整理し、意見交換を行う

対象 中学2年生以上（大人も可）

人数 通常は学校のクラス単位（30～40人）で行うが、数人～200人で行うことも可能

形態 6～7人ずつのグループでテーブルを囲む

時間 90～120分

ワークショップの流れ

1	10～20分	オリエンテーション、アイス・ブレイキング	
2	15分	ビデオ上映① ガーナの旅を疑似体験 旅先で出会ったカカオ農園で働く子どもたちが「チョコレートを見たことも食べたこともない」ということを知る	ビデオ映像
3	25～30分	ディスカッション① 子ども達にチョコレートをあげるかどうか考え、議論する	ワークシート①
4	5分	ビデオ上映② 実際に現地に行った青年たちが出した結論を知り、考える	ビデオ映像
5	20～25分	ディスカッション② 状況を改善するために、日本にいる私たちにできることを話し合い、発表する	ワークシート②
6	5～15分	ふりかえり	

ワークシート①

ガーナのカカオ農園で働く子どもたちに

私は、チョコレートを

あげる あげない

その理由は――

ワークシート②

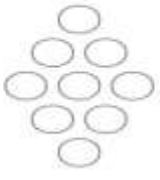
考えてみよう ― カカオ農園の子どもたちのためにできること

あなたは、チョコレートの原料となるカカオ豆の産地であるガーナという国を知っていますか？
 産地であるカカオ農園で働く子ども達の中には、チョコレートを見たことも食べたこともないという子ども達もいます。それは「南北問題」と呼ばれる、世界の南北経済格差による問題です。この問題を知り、日本に住む私たちにできることはありますか？

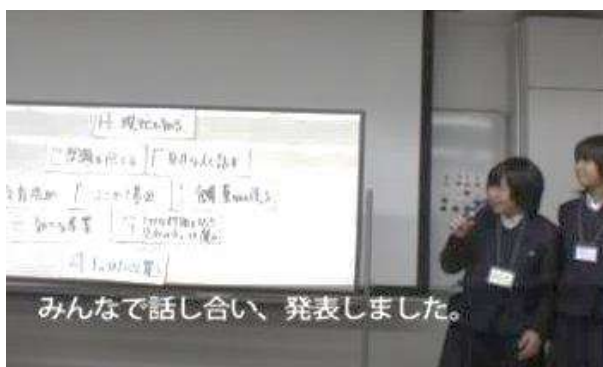
① 日本では、カカオ農園で働く子ども達にチョコレートをあげるかどうかを議論して、その結論を発表しています。

② これらの行動の是非について話し合ってください。それはなぜですか？
 ③ 現地の子供たちにチョコレートを食べさせることは、彼らにとって本当に必要なことですか？
 ④ 現地の子供たちにチョコレートを食べさせることは、彼らにとって本当に必要なことですか？
 ⑤ 現地の子供たちにチョコレートを食べさせることは、彼らにとって本当に必要なことですか？

A. 両方の農園で働く人々の収入が増えるように、チョコレートを買ってください。
 B. 両方の農園の子ども達に十分な教育を受けられるよう、学校を建てたり、教材や設備を整えたりする。
 C. 学校や地域などを通じて、より多くの人に両方の農園で働く子ども達の現状を知ってもらう。
 D. 面白い子ども達の生活改善のために活動しているNPOやボランティアに協力する。
 E. ガーナの人々が、両方の農園に簡単に収入を得られるよう、新たな産業の発展を促す。
 F. 現地の人々の、豊かさと「暮らし」について話す。
 G. 現地の子供達だけでなく、世界の世界中に十分な教育を受けられるよう両方の農園で働く子ども達にチョコレートを見せたい。
 H. 両方の農園が、両方の農園で働く人々の現状を知る。
 I. ガーナの面白い人々、食糧、衣服、芸術、産業などの現状を知る。



ワークショップの様子



参加者の感想（高校1年生）

- ・ビデオを見て、その問題を自分たちが実際に抱えている気持ちでグループ討議したりして、とても楽しく、学ぶことがたくさんあった。
- ・実際に自分がその立場だったらということを考えることによって、より真剣に国際問題について考えを深めることができた。
- ・「あげる」か「あげないか」 この2択でこれほど悩むとは思わなかった。
- ・もともとこのようなテーマにはすごく興味があったけど、普段友達と話し合う機会がなかったので、よかった。
- ・普段話さない子と話をすることができてとてもよかった。
- ・アフリカや世界の貧しい国々の現実と、その現実を踏まえた上で、具体的に私達が身近にできることを知ることができた。一人で考えたあとにグループで意見を共有することができたのも良かったです。
- ・今まで知らなかったカカオ農園で働いている人たちのことを学べたことはもちろん、自分の考え方や意見が変わった、いい体験でした。また、グループ活動をして班員の意見を聞くことで視野も広がったと思います。
- ・貧しい国の人々の現状を知って話し合うことで、私達にはその人たちのためにできることがたくさんあるんだなと実感できた。
- ・普通のテレビ番組を見ながらも世界のことは考えられるし、知らないことはたくさんあるんだなと思いました。みなと意見交換するのは、とても楽しかったです。
- ・自分とまったく違う人の意見を聞いて納得させられたので、人の話をちゃんと聞こうと思った。
- ・今回あがった、私達がやれることの中から、1つでも実践してみようと思いました。
- ・国際人になるというのは、単に英語を話せばいいというわけではなく、世界にもっと目を向けるべきだなと思いました。
- ・世界に貧困があること、南北問題のことなど知っていても、深く知ることやこれから〇〇をしよう！と決意することなど、あまりないと思うので、とてもよい時間だったと思います。

必要な機材等

- プロジェクター
- スクリーン
- スピーカー
- 延長コード（3ツ口以上）
- 可動式のホワイト・ボード又は黒板